

## 函館市医療・介護連携推進協議会 令和2年度第2回会議 会議録

- **開催終結日** 令和3年(2021年)3月29日(月)  
※書面開催につき、顧問・委員の議事回答書の提出期日をもって終結した。

- **意見聴取依頼先顧問・委員(17名)**

本間顧問, 澤木顧問, 熊川顧問, 氏家顧問, 恩村委員, 岩井委員,  
水越委員, 北村委員, 岡田委員, 崎野委員, 荒木委員, 渡部委員,  
小杉委員, 寺田委員, 保坂委員, 齋藤委員, 大泉委員

- **議 事**

- 1. 報告事項(広域連携について)について

- ・資料を送付し、議事回答書による質問、意見はなかった。

- 2. 協議事項 令和3年度 函館市医療・介護連携支援センター事業内容(案)について

(氏家顧問)

令和3年度も新型コロナウイルス感染症が続くと思われ、それを考慮した事業について検討が必要ではないか。その他は素晴らしい内容だと思う。

(小杉委員)

函館市地域包括支援センター連絡協議会としても、今以上に円滑な連携体制を構築していきたいと考えている。

全体的に、研修会、ツール作成について重点を置かれた計画だと感じた。

表題(案)について1点意見(要望)がある。

『総合相談窓口の体制の強化および周知・窓口の周知』について、皆さまの広報活動へのご尽力があり関係機関については既にされていると感じている。

現場の声としては、

- ・「具体的にどのような相談に対応していただけるのか」、「実際に対応した相談は誰からどのような内容でどう対応したのかが分からない」
- ・「相談したが、思ったような対応ではなかった」

上記のようなものがある。

おそらく、相談する側(関係機関)の認識の違いや過度な期待もあるかと思われる。

ホームページには「市民の皆様や医療・介護関係者の不安やお悩みへの相談窓口の運営」とあるため、広報啓発の際には、具体的にどのような相談に対応していただけるのか（Q&A、事例、総合相談の数値評価など）を合わせて周知していただくと、相談する機会が増え、更に連携強化につながるのではないかと感じている。更に積極的な周知をお願いしたい。

- 上記意見について医療・介護連携支援センターと情報共有し、実施可能な取り組みについて協議を進めることとする。